

2019年3月期第1四半期 決算補足資料

株式会社レノバ



2018年10月5日

注意事項

本資料は、株式会社レノバ(以下「弊社」といいます。)及び弊社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、弊社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものでもありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料の記載金額は、原則、連結数値を使用、百万円未満は切り捨てとしているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。本資料における当期(四半期)純利益は、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益を記載しています。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社レノバ IR室

電話: 03-3516-6263

mail: ir@renovainc.com

IRサイト: <http://www.renovainc.com/ir>



2019年3月期第1四半期連結決算のポイント

1 売上高及び段階利益は、通期計画に対して順調に進捗

2 秋田バイオマス発電事業(URE^{*1})の通年寄与

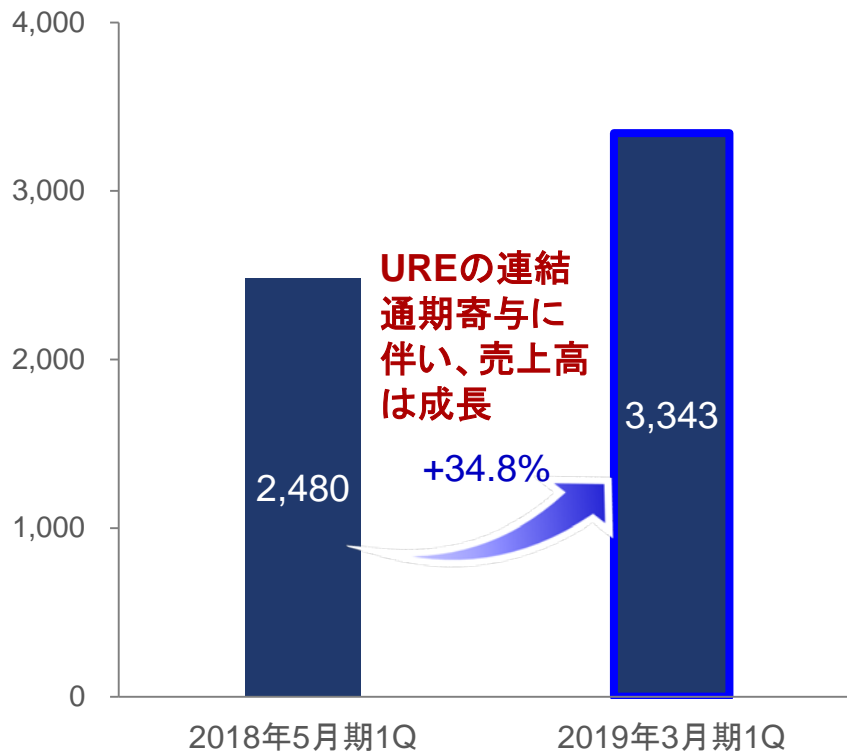
3 荏田バイオマス発電事業の融資契約等の締結及び着工

連結売上高及び連結EBITDAの推移

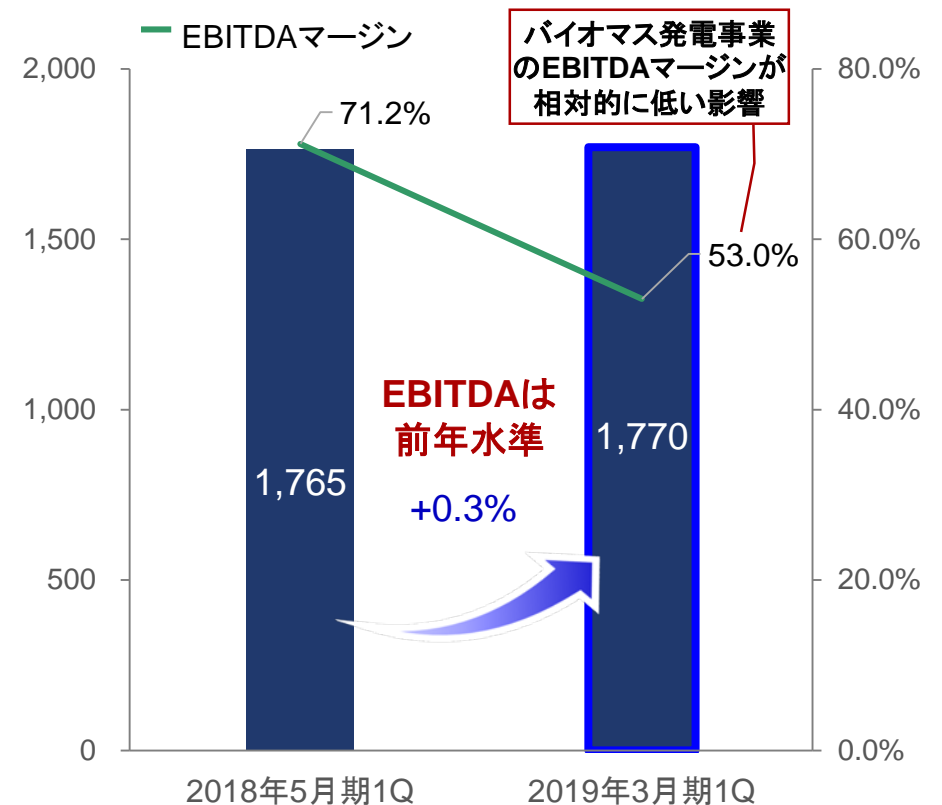
(単位: 百万円 / %)

- 秋田バイオマスの連結化及び太陽光発電所の順調な発電により、売上高は前1Q対比で成長しました
- バイオマス発電事業のEBITDAマージンが太陽光と比較して相対的に低いこと及び人件費を含む開発費用の増加のため、EBITDAの成長は売上高の成長と比較して抑制的です

連結売上高 前期比



連結EBITDA*1前期比



*1 EBITDA = 経常利益 + 純支払利息 + 減価償却費 + 長期前払費用償却 (電力負担金償却及び繰延消費税償却) + のれん償却額 + 繰延資産償却額 (開業費償却及び創立費償却)
 EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

四半期連結決算ハイライト

(単位: 百万円)

- 通期計画に大きな変更はなく、順調に進捗しています
- 秋田バイオマスに関して、当第1四半期に事業開発報酬を計上しました
- 当第1四半期においては、秋田バイオマスの連結化が、対前期比の損益の成長に影響します

| | 2018年5月期 第1四半期 | 2019年3月期 第1四半期 | 2019年3月期 (通期計画) | 通期進捗率 |
|-------------------------|-------------------|-------------------|--------------------|-------|
| 売上高 | 2,480 | 3,343 | 13,000 | 25.7% |
| EBITDA*1 | 1,765 | 1,770 | 6,500 | 27.2% |
| EBITDA マージン | 71.2% | 53.0% | 50.0% | - |
| 営業利益 | 1,163 | 1,072 | 3,700 | 29.0% |
| 経常利益 | 878 | 643 | 2,100 | 30.6% |
| 特別利益 | — | — | - | - |
| 特別損失 | 19 | 2 | - | - |
| 四半期(当期)純利益 | 471 | 241 | 900 | 26.8% |
| EPS(円)*2 | 6.41 | 3.25 | 12.12 | - |
| LTM ROE*3 | 18.3% | 7.6% | - | - |
| 運転中発電所数 (括弧は持分法適用の数) | 8 (1) | 8 (0) | 8 (0) | - |
| 発電容量(MW)*4 | 162.3 | 163.7 | 163.7 | - |

開発費用の増加によりEBITDAの成長は抑制的
秋田バイオマスの連結化に伴いマージンは低下

人件費を含む開発費用の積極的な投下

秋田バイオマスの連結化に伴い、非支配株主に帰属する純利益が増加(親会社株主に帰属する純利益は相対的に減少)

*1 EBITDA = 経常利益 + 純支払利息 + 減価償却費 + 長期前払費用償却(電力負担金償却及び繰延消費税償却) + のれん償却額 + 繰延資産償却額(開業費償却及び創立費償却)

EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

*2 EPSは潜在株式調整を考慮しない数値。また、2018年5月1日及び2018年9月1日を効力発生日として株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、分割後の期中平均株式数により算定

*3 LTM ROE における純利益は、直近12ヶ月間の数値を使用。自己資本は、直近12ヶ月初と直近月末の単純平均値を使用

*4 発電容量は弊社持分比率を考慮しないグロス値で表示。2018年4月より、那須塩原ソーラーの増設設置パネルが稼働したため、発電出力は163.7MWに増加

再生可能エネルギー事業のセグメント別業績(継続事業)

(単位: 百万円)

- 秋田バイオマスの連結化及び苅田バイオマスの事業開発報酬の計上に伴い、前1Q 対比で成長しました
- 開発費用は前1Q比で増加していますが、当期の通期計画に対しては順調に推移しています

| | | 2018年5月期 第1四半期 | 2019年3月期 第1四半期 | 2019年3月期 (通期計画) | 通期進捗率 |
|-------------------------------------|--------|-------------------|-------------------|--------------------|-------|
| 再生可能エネルギー 発電事業(A) | 売上高 | 2,056 | 3,003 | 11,300 | 26.6% |
| | EBITDA | 1,768 | 2,020 | 6,900 | 29.3% |
| | 経常利益 | 895 | 928 | 2,600 | 35.7% |
| 再生可能エネルギー 開発・運営事業 + 連結消去(B)*1 | 売上高 | 423 | 339 | 1,700 | 20.0% |
| | EBITDA | ▲3 | ▲249 | ▲400 | NM |
| | 経常利益 | ▲16 | ▲285 | ▲500 | NM |
| 継続事業の 合計(A+B) | 売上高 | 2,480 | 3,343 | 13,000 | 25.7% |
| | EBITDA | 1,765 | 1,770 | 6,500 | 27.2% |
| | 経常利益 | 878 | 643 | 2,100 | 30.6% |

秋田バイオマスの連結化の影響により売上増加。発電も順調に進捗

1Qの事業開発報酬は前年より相対的に小型

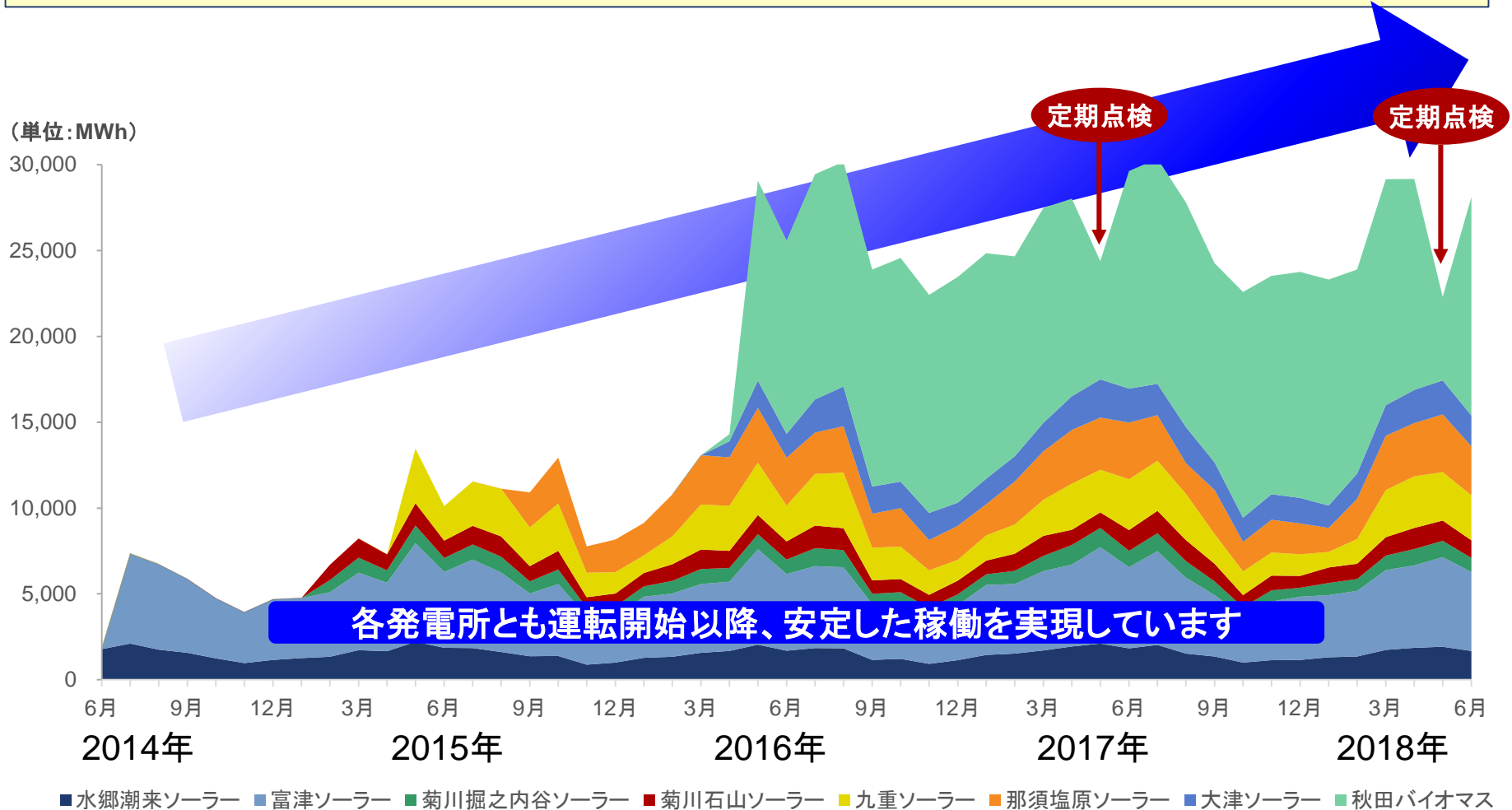
人件費を含む開発費用を積極的に投下

*1 子会社や関連会社に対する弊社の持分に相当する事業開発報酬等については、連結決算上は連結グループ内取引として連結消去

レノバの保有する発電所における売電量の月次推移*1

(単位:MWh*2)

- 太陽光発電所は、日射量の多い春季から秋季においては発電量が多い傾向にあります
- バイオマス発電所は、安定した稼働を実現しています(なお、定期点検月の5月には、発電量が低下します)



*1 各発電事業者の決算日は3月31日、弊社の連結決算日は5月31日であり、各発電事業者にて4月から3月に計上された発電量に係る数値が弊社の連結決算に計上
 なお、弊社は2019年3月期より、連結決算日を3月31日に変更

*2 発電量をあらわす単位(1MWh=1,000kWh)

連結EBITDAの構成

(単位: 百万円)

■ EBITDAは、秋田バイオマスの連結化により増加した一方、人件費を含む開発費用の積極的な投下により、横ばいとなりました

| | 2018年5月期 第1四半期 | 2019年3月期 第1四半期 | 増減 | |
|---------------|-------------------|-------------------|----------|----------------|
| 経常利益 | 878 | 643 | ▲234 | 人件費を含む、開発費用の増加 |
| 純支払利息(+) | 277 | 331 | 53 | UREの連結化に伴う増加 |
| 受取利息 | 0 | 0 | 0 | |
| 支払利息+資産除去債務利息 | 277 | 332 | 54 | |
| 減価償却費(+) | 515 | 687 | 171 | UREの連結化に伴う増加 |
| 長期前払費用償却*1(+) | 4 | 6 | 2 | |
| のれん償却額(+) | 7 | 8 | 0 | |
| 繰延資産償却額*2(+) | 82 | 93 | 11 | |
| EBITDA | 1,765 | 1,770 | 5 | |

*1 長期前払費用償却=電力負担金償却+繰延消費税償却

*2 繰延資産償却額=開業費償却+創立費償却

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

- 開発投資のための借入資金の増加に伴い、総資産は増加しました
- 利益剰余金の積み増しに伴い、株主資本が増加しました

| | 2018年5月期 期末 | 2019年3月期 第1四半期末 | 増減 | 主な増減要因 |
|--------------|----------------|--------------------|--------------|--------------------------------|
| 流動資産 | 19,185 | 21,564 | 2,378 | 開発事業における立替金の増加 |
| 固定資産 | 45,697 | 46,822 | 1,125 | |
| 有形固定資産 | 40,684 | 40,259 | ▲424 | |
| 無形固定資産 | 1,289 | 1,271 | ▲17 | |
| 投資その他の資産 | 3,723 | 5,291 | 1,567 | 新規のバイオマス発電所への出資及び洋上風力開発SPCへの増資 |
| 繰延資産 | 830 | 736 | ▲93 | |
| 資産合計 | 65,713 | 69,123 | 3,410 | |
| 有利子負債*1 | 49,189 | 52,286 | 3,096 | 開発投資のための借入金増加 |
| その他負債 | 5,653 | 5,662 | 9 | |
| 負債合計 | 54,843 | 57,949 | 3,105 | |
| 株主資本 | 7,673 | 7,916 | 243 | 利益剰余金の増加 |
| その他の包括利益累計額 | ▲25 | ▲29 | ▲3 | |
| 新株予約権 | 5 | 3 | ▲2 | ストック・オプションの行使 |
| 非支配株主持分 | 3,216 | 3,284 | 67 | |
| 純資産合計 | 10,870 | 11,174 | 304 | |

*1 有利子負債 = 短期借入金 + 1年内返済予定の長期借入金 + 長期借入金 + リース債務

連結資本構成

(単位: 百万円)

■ 開発投資のための借入資金は増加したものの、財務健全性指標に大きな変化はありません

| | | 2018年5月期 期末 | 2019年3月期 第1四半期末 | 増減 | 主な増減要因 |
|-------------|----------------------------|----------------|--------------------|-------|----------------|
| 主要BS 項目 | 総資産 | 65,713 | 69,123 | 3,410 | |
| | 純資産 | 10,870 | 11,174 | 304 | 利益剰余金の増加 |
| | 自己資本 | 7,648 | 7,887 | 239 | 利益剰余金の増加 |
| | 純有利子負債 | 35,070 | 38,370 | 3,299 | |
| | 現預金 | 14,118 | 13,915 | ▲203 | |
| | 有利子負債*1 | 49,189 | 52,286 | 3,096 | 開発事業に対する資金の借入れ |
| 財務健全性 指標 | 自己資本比率 | 11.6% | 11.4% | ▲0.2% | |
| | 純資産比率 | 16.5% | 16.2% | ▲0.3% | |
| | Net D / Eレシオ*1*2 | 3.2x | 3.4x | 0.2x | |
| | Net Debt / LTM EBITDA *2*3 | 5.6x | 6.1x | 0.5x | |

*1 有利子負債 = 短期借入金 + 1年内返済予定の長期借入金 + 長期借入金 + リース債務

*2 Net D/Eレシオ = 純有利子負債 / 純資産

*3 LTM EBITDA は、2018年5月期 6,312百万円、2019年3月期1Q 6,318百万円

電源の保有及び開発状況(1/2)

現在公表可能な事業リスト*1(2018年10月5日現在)

- 計210MWの大規模太陽光発電所5ヶ所を建設しており、2019年から順次運転開始を予定しています
- 運転中、建設中合わせて、350MW超の太陽光発電所を保有しています

| 電源 | 事業名 略称 | 所在地 | 発電容量 (MW) | 買取価格*2 (/kWh) | 現況 | 出資比率 | 環境アセスの 適用状況 | 運転開始年 (目標) |
|-----|-----------|-----|--------------|------------------|------------|---------|----------------|---------------|
| 太陽光 | 水郷潮来 | 茨城県 | 15.3 | 40円 | 運転中 | 68.0% | - | 2014年 |
| | 富津 | 千葉県 | 40.4 | 40円 | 運転中 | 51.0% | - | 2014年 |
| | 菊川石山 | 静岡県 | 9.4 | 40円 | 運転中 | 63.0% | - | 2015年 |
| | 菊川堀之内谷 | 静岡県 | 7.5 | 40円 | 運転中 | 61.0% | - | 2015年 |
| | 九重 | 大分県 | 25.4 | 40円 | 運転中 | 100% | - | 2015年 |
| | 那須塩原 | 栃木県 | 26.2*3 | 40円 | 運転中 | 100% | - | 2015年 |
| | 大津 | 熊本県 | 19.0 | 36円 | 運転中 | 100% | - | 2016年 |
| | 軽米西 | 岩手県 | 48.0 | 36円 | 建設中 | 38.0%*4 | - | 2019年 |
| | 軽米東 | 岩手県 | 80.8 | 36円 | 建設中 | 38.5%*4 | - | 2019年 |
| | 四日市 | 三重県 | 21.6 | 36円 | 建設中 | 38.0%*4 | 実施中(着工の認可済) | 2019年 |
| | 那須烏山 | 栃木県 | 19.2 | 36円 | 建設中 | 38.0%*4 | - | 2019年 |
| | 軽米尊坊 | 岩手県 | 40.8 | 36円 | 建設中 | 46.0%*5 | - | 2021年 |
| | 事業A | 九州 | 約20 | 36円 | アセス中(系統入札) | - | - | 2022年頃 |

*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性があります

*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

*3 2018年4月より、増設設置パネルが稼動したため、発電出力は24.8MWから26.2MWに増加

*4 発電所の完成日以降に、共同スポンサーが保有する全ての匿名組合出資持分を買い増す権利を有しています

*5 発電所の完成日以降に、共同スポンサーが保有する匿名組合出資持分(9%)を買い増す権利を有しています

電源の保有及び開発状況(2/2)

現在公表可能な事業リスト*1(2018年10月5日現在)

■ 苅田バイオマス事業に着工するなど、マルチ電源化に向けた開発は順調に進捗しています

| 電源 | 事業名 略称 | 所在地 | 発電容量 (MW) | 買取価格*2 (/kWh) | 現況 | 出資比率 | 環境アセスの 適用状況 | 運転開始年 (目標) |
|-------|-----------|-----|--------------|------------------|------------|---------|----------------|---------------|
| バイオマス | URE | 秋田県 | 20.5 | 32円/24円 | 運転中 | 35.3%*5 | - | 2016年 |
| | 苅田*3 | 福岡県 | 約75 | 24円/32円 | 建設中 | 43.1% | - | 2021年 |
| | 徳島 | 徳島県 | 約75 | 24円/32円 | 推進中 | - | - | 2022年頃 |
| | 御前崎 | 静岡県 | 約75 | 24円/32円 | アセス中 | - | 実施中 | 2022年頃 |
| | 石巻 | 宮城県 | 約75 | 24円/32円 | アセス中 | - | 実施中 | 2023年頃 |
| | 仙台 | 宮城県 | 約75 | 24円/32円 | アセス中 | - | 実施中 | 2023年頃 |
| 洋上風力 | 由利本荘 | 秋田県 | 約560 | 未定 | アセス中(系統入札) | - | 実施中 | 2024年頃より順次 |
| 陸上風力 | 阿武隈 | 福島県 | 約150 | 22円 | アセス中(共)*4 | - | 実施中 | 2022年頃 |
| | 事業B | 九州 | 約50 | 21円 | 先行投資 | - | 実施中 | 2024年頃 |
| 地熱 | 南阿蘇 | 熊本県 | 未定 | 未定 | 先行投資(共)*4 | - | - | 2021年頃 |
| | 恵山 | 北海道 | 未定 | 未定 | 先行投資 | - | - | 未定 |

*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性があります

*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

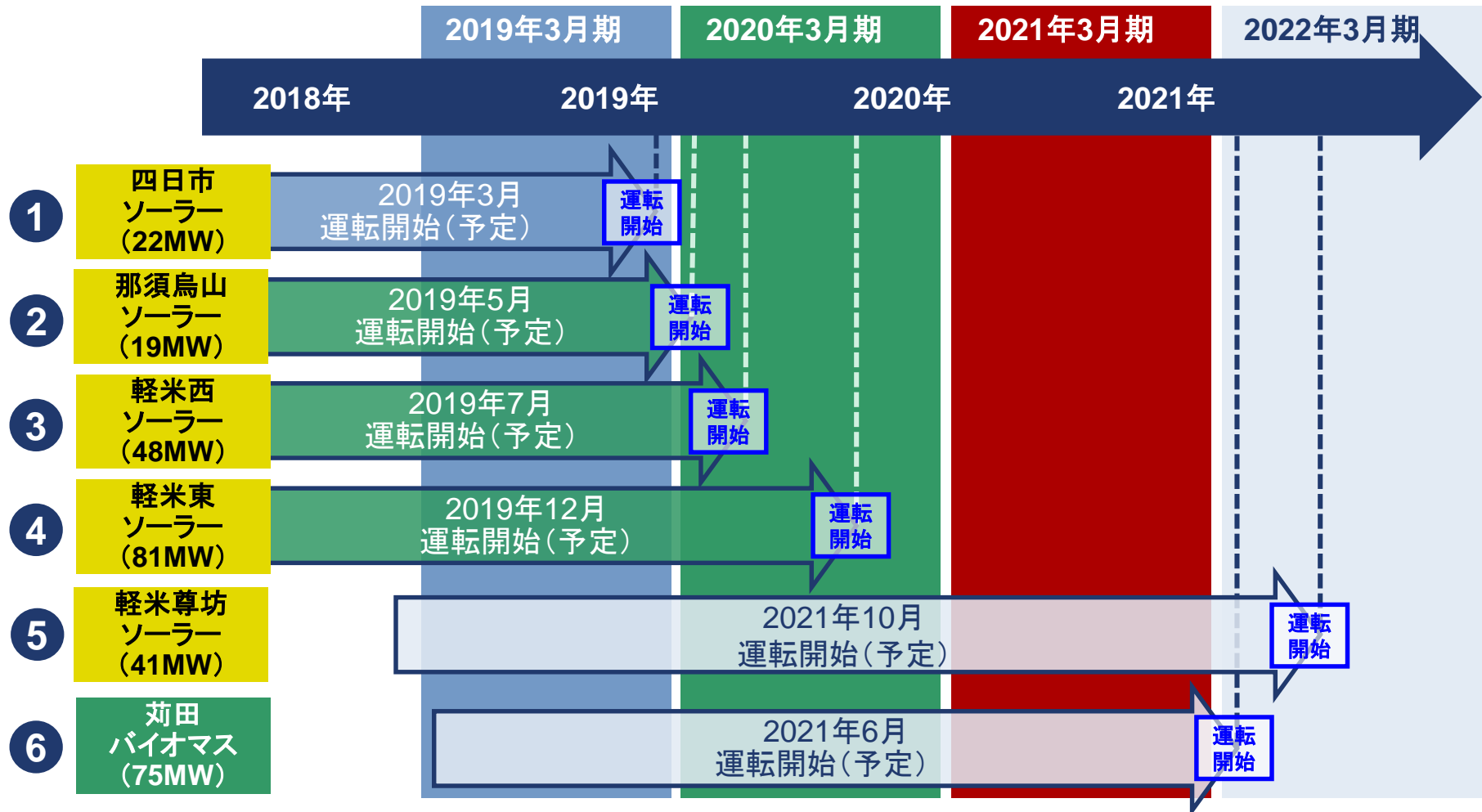
*3 弊社が開発推進をリードした共同推進事業であり、筆頭株主としてSPCの株式43.1%を保有。なお弊社は、共同出資会社4社が保有するSPCの出資持分を買い増す権利を有していません

*4 (共)は、他社が開発推進をリードしている共同推進事業

*5 弊社はUREに対して、弊社子会社である千秋ホールディングス㈱を通じて出資しており、弊社によるUREの実質持分(千秋HDが保有するUREの株式に対して、弊社が保有する千秋HDの持株比率を乗じ、弊社が直接保有するとみなして算出したURE持株比率)は35.3%

建設中の事業一覧*1

■ 建設中事業は、2019年3月以降に順次運転開始し、収益に貢献する見通しです



*1 建設中の事業の運転開始の年月は、現状における予定であり、変更、遅延となる可能性があります

2019年3月に竣工予定の四日市ソーラー事業の進捗 (三重県四日市市)

■ 三重県初となる、国の法令に準拠したフルアセスを実施した大規模太陽光発電所です

四日市ソーラー建設中の様子
(2018年9月28日撮影)



■ 四日市ソーラーの概要

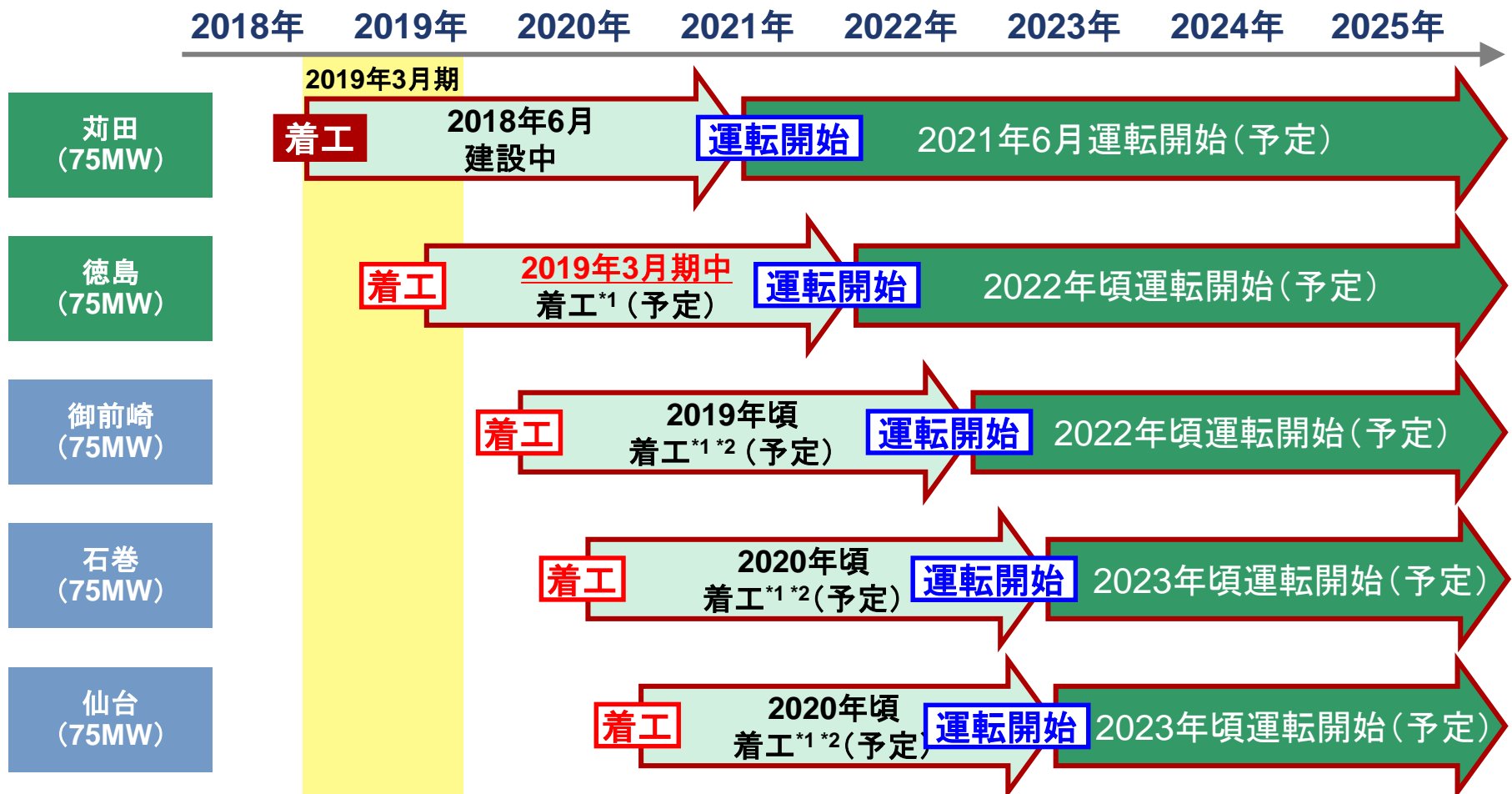
- 出力*1: 22MW
- 売上高: 約9億円/年
- EBITDA: 約7億円/年
- 総事業費*2: 約80億円
- 運転開始: 2019年3月(予定)

*1 MW数はモジュール容量ベース

*2 発電関連設備、建屋、土地、土木造成、ファイナンス関連費用(リザーブ等含む)、開業関連費用、消費税など、運転開始までにかかる全ての支出を含んだ金額

バイオマス発電事業の開発推進状況

- 開発中の大型バイオマス発電事業は、今後1~2年で順次着工予定です
- 2021年以降に順次発電開始予定です
- 運転中の秋田バイオマス(20MW)を含めると、合計約400MWの発電容量になります



*1 融資契約後、建設に係る準備期間を含む。なお、開発の進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性があります

*2 環境影響評価準備書に記載の着工予定ではなく、弊社が定義する着工予定を記載しています

【ご参考】マルチ電源開発の順調な進捗

苅田バイオマス事業の概要

- 2018年6月に福岡県京都郡苅田町における大型バイオマス事業が着工しました
- 2019年3月期1Qに事業開発報酬を計上しています
- 住友林業との初の共同開発事業です

| 苅田バイオマス事業 | |
|-----------|---------------------------------|
| 発電容量 | 75 MW |
| 主燃料 | 木質ペレット (PKS/未利用材併用) |
| FIT単価 | 24円/kWh (未利用材は32円/kWh) |
| 運転開始 | 2021年6月(予定) |
| 想定売上高 | 約130億円/年 |
| 総事業費 | 500億円程度*1 |
| LTC | 90% |
| 主要株主 | レノバ(持分43.1%*2) 住友林業(持分41.5%) |

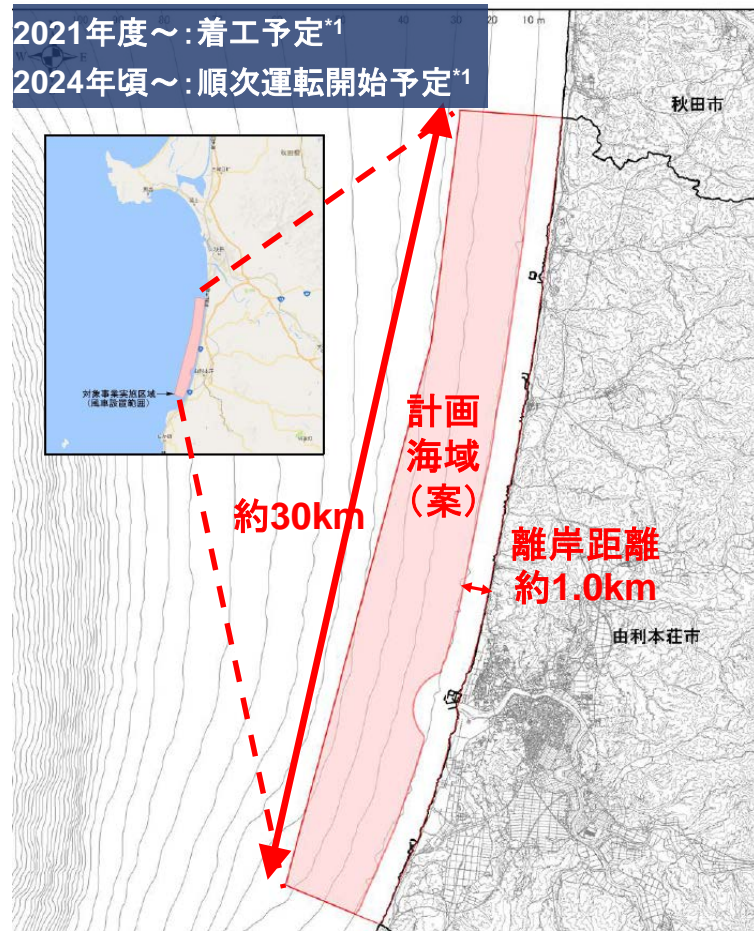
資本業務提携を行っている住友林業
との共同開発事業

*1 発電関連設備、建屋、土地、土木造成、ファイナンス関連費用(リザーブ等含む)、開業関連費用、消費税など、運転開始までにかかる全ての支出を含んだ金額

*2 苅田バイオマス事業に関する株主間契約においては、コールオプションは設定されていません。そのため、弊社は株主間契約に則った持分の買い増しを行うことはできません

【ご参考】秋田県由利本荘市沖 大型洋上風力発電事業の進捗プロジェクトの進捗状況

- 第2期目の海底地盤調査が完了し、風況観測塔も追加設置するなど、開発が着実に進捗しています
- また、電力系統に接続するための、東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセスの入札が8月末に実施され、年内には結果回答を受領する見通しです



事業開発の進捗状況

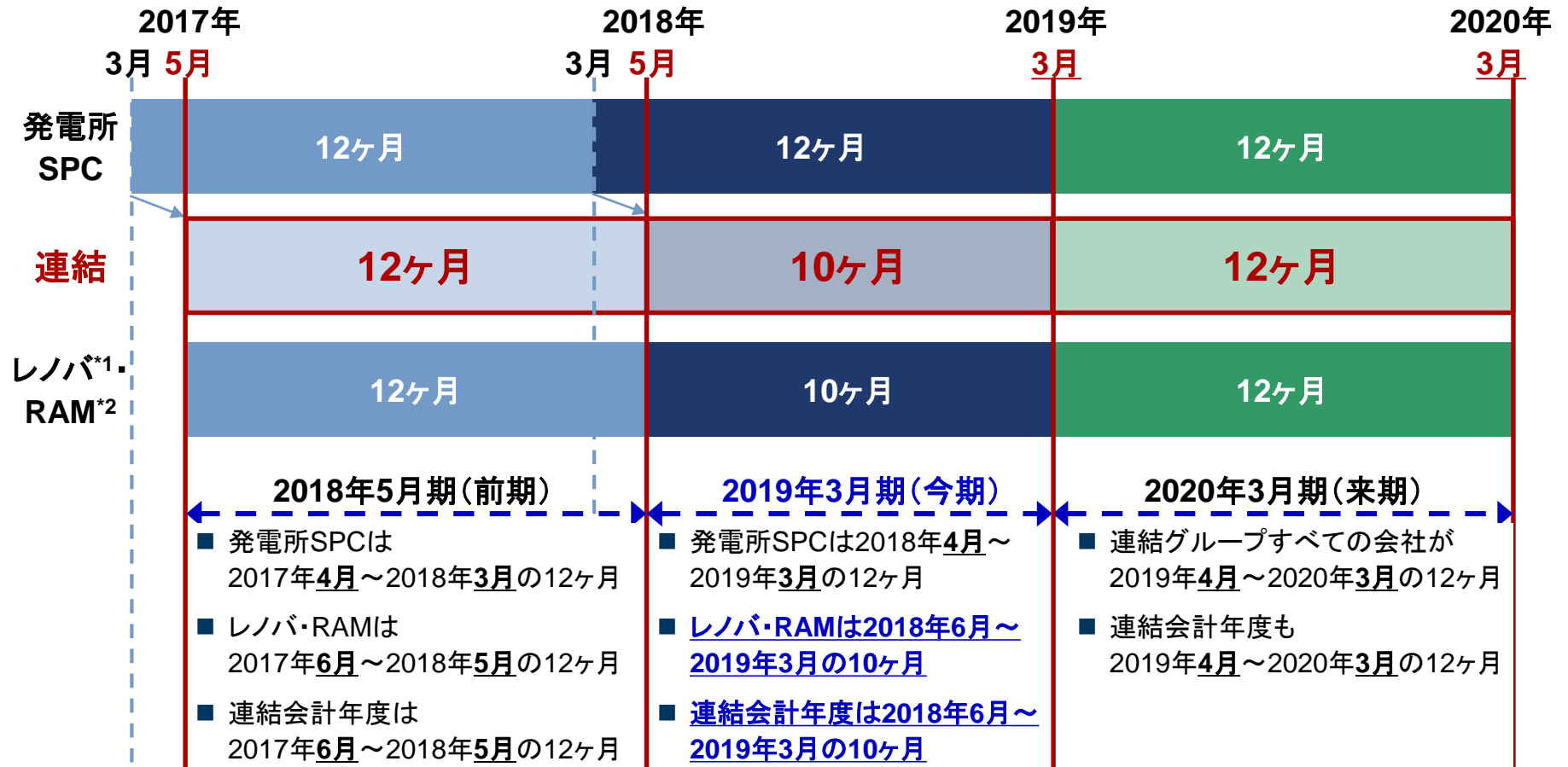
- 2期目の海底地盤調査が完了。風車の選定及び配置計画／概略設計が進展中
- 3ヶ所目及び4ヶ所目の風況観測塔が設置完了
- 環境アセスメントは春季、夏季現地調査が完了
- 2018年8月に、東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセスに入札。年内に結果回答の見通し



秋田県由利本荘市沖 2期目の海底地盤調査の様子

*1 開発の進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性があります

【ご参考】決算期変更に伴う2019年3月期前後の連結イメージ



4Qにおいて、SPC業績は3ヶ月分、レノバ・RAM業績は1ヶ月分が取り込まれる

*1 ここではレノバ単体を示します
*2 レノバ・アセット・マネジメントの略

【ご参考】2019年3月期連結業績予想

(単位: 百万円 / %)

業績予想に変更なし

- 2019年3月期は、売上高及び各段階利益の成長を計画しています
- 事業拡大のために積極的な先行投資を行います

| | 2018年5月期 (実績) | 2019年3月期 (業績予想) | 前期比 | |
|-------------|------------------|--------------------|-------|--|
| 売上高 | 11,740 | 13,000 | 10.7% | ■ 秋田バイオマスの業績が 通期で連結寄与 |
| EBITDA | 6,312 | 6,500 | 3.0% | |
| EBITDA マージン | 53.8% | 50.0% | - | |
| 営業利益 | 3,679 | 3,700 | 0.6% | ■ 人員増強、オフィス移転 含む、積極的な先行投資 フェーズが継続 ■ 利益は前年同等水準の 見通し |
| 経常利益 | 2,055 | 2,100 | 2.2% | |
| 当期純利益 | 800 | 900 | 12.4% | |
| EPS(円)*1 | 10.8 | 12.1 | - | |
| ROE*2 | 11.1% | 11.0% | - | |

*1 EPSは潜在株式調整を考慮しない数値を記載。また、2018年5月1日及び2018年9月1日を効力発生日として株式分割を行っているため、2018年5月期(実績)のEPSは前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、分割後の期中平均株式数により算定しています。2019年3月期(業績予想)のEPSは、2018年5月期末における発行済株式総数を期中平均株式数と仮定して算出しています 18

*2 ROEにおける純利益は、直近12ヶ月間の数値を使用。自己資本は、連結会計年度の期首と期末の単純平均値を使用しています

【ご参考】株式分割の実施状況

- 2度の株式分割は、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としています

| | 分割割合 | 発行済株式総数 |
|--------------------------|------|-------------|
| 2018年3月31日時点 | - | 18,482,700株 |
| 2018年5月1日付 ^{*1} | 1:2株 | 36,965,400株 |
| 2018年9月1日付 | 1:2株 | 74,290,800株 |

^{*1} 発行済株式総数は、2018年3月31日現在の発行済株式総数をベースに2分割した場合の株式数を記載しています

【ご参考】新株予約権(ストックオプション)の状況

2018年9月1日現在

| 割当回 | 新株予約権の行使時の 1株当たり払込金額 | 新株予約権残数 株式数*1(株) | 資本組入額 (千円) |
|----------------|-------------------------|---------------------|---------------|
| 第16回 新株予約権 | 78円 | 97,600 | 3,806 |
| 第18回 新株予約権 | 78円 | 254,400 | 9,921 |
| 第19回 新株予約権 | 78円 | 60,800 | 2,371 |
| 第20回 新株予約権 | 97円 | 169,600 | 8,225 |
| 第21回 新株予約権 | 97円 | 228,800 | 11,096 |
| 第22回 新株予約権 | 97円 | 198,400 | 9,622 |
| 第23回 新株予約権 | 97円 | 380,800 | 18,468 |
| 第24回 新株予約権 | 97円 | 107,200 | 5,199 |
| 第25回 新株予約権 | 97円 | 768,000 | 37,248 |
| 第26回 新株予約権 | 188円 | 1,633,600 | 153,558 |
| 第27回 新株予約権 | 188円 | 1,321,600 | 124,230 |
| 第1回 株式報酬型新株予約権 | 1円 | 60,000 | 30 |
| 総計 | - | 5,280,800 | 383,774 |
| 希薄化率*1 | - | 7.1% | - |

*1 2018年9月1日の株式分割を反映した発行済株式総数を基準として記載しています

【ご参考】会社概要

2018年8月31日現在（注記がある場合は、注記の年月日現在）

会社情報

| | |
|--------------|-----------------------------------|
| 社名 | 株式会社レノバ |
| 本店所在地 | 東京都中央区京橋二丁目2番1号*1 |
| 代表者 | 代表取締役会長 千本 倅生 代表取締役社長CEO 木南 陽介 |
| 設立 | 2000年5月 |
| 資本金 | 1,987百万円 |
| 証券取引所 | 東京証券取引所市場第1部 |
| 証券コード | 9519 |
| 事業内容 | 再生可能エネルギー事業 |
| 従業員数 (連結) | 134名 |

コーポレート・ガバナンス

| | |
|------|-----------------|
| 取締役会 | 取締役8名のうち社外取締役6名 |
| 監査役会 | 監査役4名のうち社外監査役3名 |

株式の状況

| | |
|--------------|---------------------------|
| 発行可能 株式総数 | 280,800,000株(2018年9月1日現在) |
| 発行済 株式総数 | 74,290,800株(2018年9月1日現在) |
| 株主数 | 8,508名(2018年8月31日現在) |

主な沿革

| | |
|----------|--|
| 2000年5月 | 株式会社リサイクルワン(現レノバ)を設立 |
| 2006年5月 | プラスチックリサイクル事業に参入 |
| 2012年10月 | 再生可能エネルギー事業に参入 |
| 2013年12月 | 商号を株式会社レノバに変更 |
| 2014年2月 | 株式会社水郷潮来ソーラーにて発電を開始 |
| 2014年7月 | 株式会社富津ソーラーにて発電を開始 |
| 2015年2月 | 株式会社菊川石山ソーラー、株式会社菊川堀之内谷ソーラーにて発電を開始 |
| 2015年5月 | 九重ソーラー匿名組合事業にて発電を開始 |
| 2015年9月 | 那須塩原ソーラー匿名組合事業にて発電を開始 |
| 2016年4月 | 大津ソーラー匿名組合事業にて発電を開始 |
| 2016年5月 | バイオマス発電事業に参入 (ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社=UREにて発電を開始) |
| 2016年8月 | プラスチックリサイクル事業を譲渡 |
| 2017年2月 | 東京証券取引所マザーズ市場に株式上場 |
| 2017年7月 | UREを連結子会社化 |
| 2018年2月 | 東京証券取引所市場第1部へ市場変更 |

*1 2018年10月1日時点